



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①□区町村名	鈴鹿市
②人口（※1）	201,403人（平成25年3月31日現在）（ ）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	20.8%（65歳以上）（ ） 9.3%（75歳以上） （平成25年3月31日現在）
① 取組の概要	医師会が中心となり介護、福祉、行政が連携して在宅の高齢者等を支えるための仕組みづくり
⑤取組の特徴	医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネージャー等が在宅の高齢者等を支えるため、在宅医に関する情報や構成メンバー間の連絡箋等の様式の統一、研修等を行い、在宅での看取りまでを総合的に支援するための体制づくり
⑥開始年度	平成23年度
⑦取組のこれまでの経緯	在宅医に関する情報や連絡箋等の様式のページを新たに作成し、医師会ホームページに当該ページを増設。 年3回連絡会議を開催し、問題点の洗い出しや今後の取り組みの検討を実施。 年3回研修会を開催し関係者のスキルアップを図った。
⑧主な利用者と人数	医師、ケアマネージャー、訪問看護師、地域包括支援センター、薬剤師等
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体：医師会 関連団体：病院、歯科医師会、薬剤師会、介護支援専門員連絡協議会、地域包括支援センター、訪問看護師、歯科衛生士会、行政
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	研修会の開催（医師会へ委託） 平成25年度予算額30万円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	
⑫取組の課題	在宅医療担当医の登録促進、退院時カンファレンスの周知、市民への周知、他の職種の業務内容が十分に理解されていない等
⑬今後の取組予定	定期的な会議開催により多職種間の連携強化と課題の洗い出し。 多職種を対象とした勉強会（研修会）を開催し、全体のスキルアップを図る。 わかりやすいパンフレットを作成し、市民の在宅医療に関する理解を高める。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	鈴鹿市保健福祉部長寿社会課 電話 059-382-7935 鈴鹿市保健福祉部健康づくり課 電話 059-382-2252

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。